

例会 NO. 404
NO. 9-32 1999. 3. 10 発行
(例会日: 1999. 3. 3)



1998~1999年度R1テーマ
ロータリーの夢を
追いつけよう



Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1998~1999年度クラブ目標 " 心と心のふれあい " (HEART TO HEART)

司会 SAA委員会 池田 光秋

◎点鐘 会長 杉田 誠
◎国歌斉唱・ロータリーソング『それでこそロータリー』
ソングリーダー 太田 博史

◎4つのテスト唱和
ロータリー情報委員会 吉澤 洋景

◎お客様紹介 会長 杉田 誠
東京多摩RC 村上義教様
野村証券(株) 多摩センター支店長 太田博史様
野村証券(株) 新百合ヶ丘支店長 永池廣行様
米山奨学生 ウダワツタ・カンカナン・サマン・キールティ君

◎会務報告 会長 杉田 誠
2/24 第11回理事会を開催いたしましたので、決議事項を報告致します。

1. 伊神 稔会員の退会願いについて、1/31付をもって退会届を受理致しました。
2. 永井 峰子会員の傷害(骨折)のための自宅療養について、1/19より3ヶ月間の定款第7条第3節による出席免除を承認致しました。
3. 「地区災害救援の為の資金について」として地区国際奉仕委員長、地区世界社会奉仕委員長より提案された募金の方法については、「反対」する事と致しました。
4. 4/17の定例会を稲城と合同の花見例会に変更する検討を行っています。決まり次第幹事より報告があります。

◎幹事報告 幹事 佐伯 和廣

1. 国際ロータリー第2750地区ローターアクト「第19回地区年次大会」の開催案内が届いております。

5月9日(日)、府中の森芸術劇場、登録料6,000円です。申し込みは事務局までお願いします。3/31〆切となっております。

2. 恵比寿RCより例会変更のお知らせが届いております。
3. グラム地区大会の最終申し込みは、3/17の例会までですので、それまでに申し込み下さい。

◎次年度会長報告 会長エレクト 海野 栄一
来年度の活動計画を作成するにあたりまして、この時期をプロ野球に例えますと、3/9までは自主トレの期間であり、3/10からは開幕に備えたキャンプとなるわけで、他の会員との合同プレーとなりますので、よろしく願い致します。

◎ロータリー財団表彰
ロータリー財団委員長 伊藤 英也
ポールハリスフェロー表彰 海野 栄一 会員

◇委員会報告◇

◎出席報告 出席委員会 村上 久

会員総数	出席義務者	出席者	出席率
48名	46名	38名	84.78%
2/24 訂正出席率			87.23%
2/19 最終訂正出席率			68.09%

- ・欠席…福田寿夫、萩生田茂夫、菊池敏、北村幸彦、小林和夫、宿院利幸、戸田昭寿、高橋正晴
- ・メイクアップ…菊池敏 3/2 東京多摩RC

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 津守 弘範
東京多摩RC 村上義教様…しばしばお世話になります
よろしく願い致します。

海野 栄一…先週のお茶代の残りです。

海野 栄一…桃の節句なので

宮本 誠…今朝、一本杉公園で今年初めてのウグイス
が鳴きました。

大松 誠二…太田さん、お世話様。元気で又野球をやり
ましょう。

田島真由美…キールティ君、卓話ががんばって下さい。

田中 實…今日は、ひなまつりですね。

村上 久…太田さん久しぶりです。

津守 弘範…村上さんようこそ。

本日の合計 20,000円(累計 ¥983,496)

◎国際奉仕委員会 委員長 根本 泰守
寄付金を地区で取りまとめる件について、寄付はあく
までも個人の善意であると考えため、当クラブは、こ
の原理・原則を守り、これに反対することと致しました。
この件でさっそく、コロンビアの地震災害などについて
も依頼が来ておりますが当クラブでは、辞退させて頂き
ます。

◎ガバナー月信委員会 遠藤 立一
本日配布しましたガバナー月信に田中ガバナー補佐の
お話がのっております。東分区で初めてガバナー補佐と
して文章を書かれました。皆さんぜひお読み下さい。
(3月号の13ページ「ガバナー補佐の目」と題して)

◎国際青少年交換委員会 赤尾 恭雄
ファティーのホストファミリーについて、皆様よろし
くお願い致します。

◎米山奨学事業委員会 委員長 田島真由美
本日、寄付の申込書を配布しましたので皆様御協力
をお願いします。

卓話で話すキールティ君→



ポールハリスフェローの表彰を杉田誠
会長より受ける海野栄一会員 ↑

タクトを振る太田博史様→



◎卓話 『私と日本』

米山奨学生 ウダワッタ・カンカング・サマン・キールティ君

私は、現在東京農工大学3年生です。電子情報工学科
に在学中です。

日本に来た理由は、最新情報社会に興味があり、残念
ながら向こうは情報化では日本より遅れております。私
はもっとこの点を勉強したくて日本の文部省のプログラ
ムに申し込んで日本に来る事になりました。私がこの文
部省のプログラムに申し込んだ事は、親は知りませんで
した。親が知ったとき反対されました。日本よりも親が
子供の事をあまりにも考えすぎて一日でも外に出るのは
大変なことなのです。でも最後に母が納得してくれて来
られました。その時日本に関する情報はほとんどなかつ
たのですが、「おしん」はテレビでやっていたので日本の
情報として日本のイメージを知る事が出来ました。日本
も仏教の国なので、ある意味では、向こうの人と考え
方が似ているという点も親が納得してくれた理由だと思
います。

—彼は少し、人種と戦争の話をしてから日本とスリラ
ンカの友好関係について、日本は最大の援助国だと言
ってますがこれも当然の事だと思うお話を彼の話の中
と彼の資料の中で知る事が出来ました。—

『1951年に開かれた、サンフランシスコ会議で、日
本を独立国として認めるかどうか議題となった時、スリ
ランカの全権大使は、日本の独立を支援する演説を仏様
の言葉を引用してこの様に述べました。「憎しみは憎し
みでは報われない。慈愛の心で敵を許さなければ平和は
訪れない」スリランカ(当時セイロン)は戦争の時、日本
の攻撃で被害を受けていたにもかかわらず戦時賠償も放
棄しました。変則的ではありましたが、この会議によつ
て日本国は、「占領下」から「独立国」として世界に認
められるようになりました。』

文化的にも習慣的にも似ていて日本は自分に合ってい
るのではないかと思います。日本に4年半以上も居て、
色んな事を学ぶことが出来ました。今日は時間が無くて
お話できませんが何時でも聞いて下さい。これからも
出来るだけボクなりに何かしようと思います。よろしく
お願い致します。

—やはり「おしん」の力はすごかったようですね。彼
が日本に来られたのもおしんのおかげだったようすし、
素晴らしい日本語にもびっくりしました。—

◎点鐘

会長 杉田 誠

(今週の担当 小泉 博)